



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信 **週刊**
 2012年6月29日号 No.248

'みなさんをいつもまんやかに、'

区議団控室：5803-1317 (直通)

萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

第二回定例議会 総務区民委員会での審議

「平成26年度末をもって公設真砂市場を廃止」利用者などの「必要性」はどう考えたのか？

先週22日に開催された総務区民委員会で、「区民センター耐震改修等の検討について」が報告され、その中で区設真砂市場の廃止が打ち出されました。

報告ではまず、区民センターの耐震改修を先行してできるだけ早く実施する真砂市場は「公設市場」としての役割低下、出店者も減少のため、平成26年末で廃止する。今後は商業施設でなく公共目的に利用する、という方向性が明らかになりました。

委員会で私は2点、質問しました。区が依頼した調査結果によると、真砂市場の有効活用について、「財産性 商業性 社会性・公共性」については検討したものの、市場の「必要性」についてはどうなのか。2年前の商店街利用状況調査によると、近



生鮮三品がそろい、昼は学生、夕方は近所の方が利用する真砂市場

隣のの利用が多い、生鮮品が安い、徒歩で買い物に行ける...など市場の特徴が指摘されているのに、実にあっさり「必要性は薄れた」と結論づけました。

また、出店者が平成19年をピーク(空き店舗なし)に確かに少なくなっています。が、廃止をちらつかせ、耐震工事のためと募集の制限をすれば出店が増えないのは当然です。しかも平成8年から区は市場の改修工事をしていないことも、古い、暗い"を助長したのではないか。優先すべきは、店主さんと利用者の意向です。



近くて便利な商店がなくなる!

消費税増税案を採決強行
あなたの声を「茶話会」で

スペシャル

ひどいものです! 「3党合意」をろくな審議もさせずに採決。"私も怒っています!" の声を、今度の茶話会で話し合ひましょう。

7月4日(水)午後2時 まんだち幹夫事務所にお集まりください。

初めての「ミニバザー」
ぜひお越しください

7月8日(日)午前11時から
 会場: まんだち幹夫事務所 他

みなさんのご協力で初めての「ミニ・バザー」を行います。都合のいい時間にぜひ顔を出してください。

お困りのことがありましたら、上記の電話までお気軽にご連絡ください。萬立

まんだち日誌

20日 区議会厚生委員会。議員提案した精神障害者にも手当を支給する条例案の委員会説明に立ちました。短い時間の質疑のすえ、採決。残念ながら「否決」でした。

22日 私の所属する総務区民委員会。本文の真砂市場について、外国人登録の廃止による外国人住民登録の件「コミュニティバスなどについて審議。議案6件と請願4件の審議もあり5時過ぎまでかかりました。

23日 夕方、グルメリシーター前で宣伝。消費税増税の緊迫した情勢を反映して、ピラの受け取りがよかったです。

26日 午前、議運。午後、全協。2時から本会議。条例案の議決と、監査委員の承認をしました。